2025年2月25日

各　　位

会 社 名　　株式会社フーバーブレイン
代表者名　　代表取締役社長　輿水　英行
（コード：3927　東証グロース市場）
問合せ先　　管理部 部長　植村　浩之
（TEL.　03-5210-3061）

日本瓦斯株式会社における当社サービス導入に関するお知らせ

当社が提供する標的型攻撃メール訓練サービス「FB SATMail（エフビーサットメール）」が日本瓦斯株式会社にて導入されましたので、お知らせいたします。

記

１．背景

昨今、AI、IoT、ビッグデータ等のデジタル技術を駆使し、企業の新たな成長・競争力強化につなげるため、規模を問わずスピーディなDX化が求められております。一方で、技術革新によるサイバー空間とフィジカル空間の融合する範囲の拡大により、サイバー攻撃による被害範囲も拡大し続けております。企業は競争力維持・強化に向けたデジタル技術の活用の拡大と同時に、セキュリティ対応の徹底が不可欠なものとして求められておりますが、IT ツール及びセキュリティ対策が時代に伴い進化・高度化しても、導入設定・運用管理を行うのはあくまで「ヒト（従業員）」であり、「ヒト（従業員）」が高いセキュリティ意識をもっていなければ情報漏洩やウイルス感染などの脅威はなくなることはありません。

このような背景から、当社は、顧客企業のセキュリティ意識強化を目的として、教育・訓練サービス等従業員のセキュリティ意識（ヒトセキュリティ）の向上を支援する「FB SAT（エフビーサット、Fuva Brain Security Awareness Training）」を提供し、その一つとして、標的型攻撃メール訓練サービス「FB SATMail」を提供しております。「FB SATMail」は、サイバー攻撃に備えて、標的型攻撃メールを模した訓練用メールを従業員に送信し、開封時の注意や正しい初期対応を学ぶ教育サービスになります。標的型攻撃メールの疑似体験を実際に体感することにより、従業員へのさらなる危機意識の向上を促すことが可能です。

この度、日本瓦斯株式会社におかれましては、セキュリティ対策の一環として、「FB SATMail」を導入いただくこととなりました。

２．「FB SAT」について

FB SAT（エフビーサット、Fuva Brain Security Awareness Training）は、「従業員のセキュリティ意識（ヒトセキュリティ）の向上が会社を守る」をコアコンセプトとし、セキュリティ対策の実態を可視化し、従業員のセキュリティ意識（ヒト・セキュリティ）の向上を支援するセキュリティサービスシリーズです。FB SAT では、セキュリティ診断による網羅的なセキュリティリスクの可視化、セキュリティ教育による会社全体のセキュリティリテラシー向上、サイバー攻撃体験によるセキュリティ意識の醸成、そして、当社の既存サービス「Eye“247” Work Smart Cloud」による業務実態に潜むリスクチェックを組み合わせた「意識改革サイクル」を実現し、従業員のセキュリティ意識（ヒトセキュリティ）の向上を支援します。また、フォレンジックサービス等、企業のセキュリティ対策・対応に必要なセキュリティサービスを提供しております。

当社は今後も、「FB SAT」シリーズによる「ヒトセキュリティ」の向上で、企業・組織のセキュリティ対策強化に貢献してまいります。

以上